

新型コロナウイルス感染症対策・学校再開 ガイドライン

【登米市立北方小学校】2020. 6. 18更新(Ver.5)

* アンダーラインが更新箇所

児童一人一人の命と大切な家族の命を守るために、学校では次のことを徹底していきます。学校と家庭が一つになって取り組んでいきましょう。

■ 1 感染症対策の3つのポイントを徹底します

感染源を絶つこと	<ul style="list-style-type: none">○ 毎朝、家で検温をします。○ 登校までに家で風邪の症状などがいないか、健康観察をします。○ 検温をしないで登校した児童は、別室で検温をします。
感染経路を絶つこと	<ul style="list-style-type: none">○ つめは短く切っておきます。○ 外から教室に入る時や給食の前後など、こまめに手洗いをします。○ 石鹸で30秒～1分しっかり手を洗い、その後、流水で30秒以上すすぎます。○ 手を拭くハンカチは必ず自分で持ちます。○ マスクを必ず着用します。<u>(熱中症が危惧される場合には、マスクを着用しませんが、ソーシャルディスタンスの確保や活動後の手洗いとうがい、換気を徹底します。)</u>
抵抗力を高めること	<ul style="list-style-type: none">○ 十分な睡眠、適度な運動、バランスの取れた食事を心掛けます。○ 「早寝」「早起き」「朝ごはん」に取り組みます。

■ 2 3密（密閉、密集、密接）を避け、学年単位での教育活動を実施します

登校まで	<ul style="list-style-type: none">□ スクールバスの座席の間隔を空けます。□ スクールバスの中では、会話を控えます（マスク着用の徹底）。□ 児童、教職員の毎朝の検温、風邪症状の有無等を確認します。<ul style="list-style-type: none">① 昇降口近くで手洗い② 検温している児童→各教室へ③ 検温していない児童→体温計測所へ④ 発熱、体調不良の児童→児童会室で待機。 家庭に連絡をして帰宅させます。□ 教室に入る前に、手洗いまたは手の消毒をします。
授業中 ＜各教室＞	<ul style="list-style-type: none">□ 座席の間隔を1 m以上空けます。□ 2方向の窓を5 cm開け、空気の通り道をつくります。45分間に1回以上窓を広く開けて換気を行います。<u>(冷房時も同様)</u>□ 座席の間隔を1 m確保できない教室での学習では、45分に2回以上窓を広く開けて換気を行います。★□ 休み時間ごとに2方向の窓（対角線上）を広く開けて換気を行います。□ 外から教室に入る時、トレイの後は必ず手を洗います。□ ハンカチや学習用品などの物の貸し借りは控えます。□ 飛沫感染のリスクのある学習内容（器楽、調理等）やペア学習等は、広い場所へ移動して活動したり、換気や活動前後の消毒や手洗いうがいを十分行ったりして実施します。★
＜特別教室＞	<ul style="list-style-type: none">□ 体育館を使用する場合も換気を行います。西と南の扉を開け、上の窓も広く開けます。□ 体育は、原則校庭で行い、人と接触する活動は避けます。□ 整列や準備運動は2 m以上距離をとります（両手間隔）。

	<ul style="list-style-type: none"> □ <u>体育の授業でマスクの着用は不要ですが、見学する児童はマスクを着用します。</u> □ <u>教師は原則としてマスクを着用しますが、自らの身体のリスクや自ら運動する場合はマスクを外します。</u> □ <u>パソコン室、理科室等の利用については、出入りで廊下が混雑しないよう時間差をつけます。活動後は手洗いを徹底します。</u>
休み時間	<ul style="list-style-type: none"> □ <u>昇降口で混雑が起きないように、学年間で時間差をつけるなどの調整を図ります。</u> *西昇降口：1、3、4年 *東昇降口：2、5、6年 □ 教室に入る前に手洗いを徹底します。 □ 手洗い場を割り当て、混雑を防ぎます。 □ <u>水分補給やうがいのための水筒を持参します。のどが渴いていなくても、こまめに水分補給を心がけます。</u>
給食	<ul style="list-style-type: none"> □ <u>給食準備の前には、必ず全員が石鹸で30秒～1分しっかり手を洗います。その後、流水で30秒以上すすぎます。</u> □ 給食台等は、アルコール消毒等を行います。 □ 全員マスクを着用し、会話を避けて準備をします。 □ 座席は前を向き、会話を控えます。 □ 歯磨きは密にならない状態で行い、口をすすぐときには、水が飛び散らないように静かに行います。★
清掃	<ul style="list-style-type: none"> □ 1 m以内での会話は避け、人との距離を取って行います。 □ 教卓や児童机等の消毒を行います。 □ <u>教室や廊下の掃除で水拭きを行ったバケツの水は、水しぶきが飛ばないように静かに捨てます。</u> □ 児童によるトイレ掃除は、掃き掃除のみ行います。
放課後	<ul style="list-style-type: none"> □ ドアノブ、手すり、スイッチ等の消毒を行います（職員作業）。 □ 放課後児童クラブと情報交換をし共通行動をとります。 □ 部活動再開（金管、自転車）に当たっては、児童の体力低下等に配慮した活動時間とします。★ □ 部活動（金管、自転車）は、広い場所へ移動して活動したり、換気や活動前後の消毒や手洗い、うがいを十分行ったりして実施します。★ □ 部活動で使用する用具については、児童間で不必要に使い回しをしません。★

* 「★」は、地域ごとに判断した行動基準（レベル1～3）のレベル1の時に限定した内容です。

■ 3 学習の遅れに対応します

- ① 前年度指導できなかった単元を指導した後、系統立てて指導した方が効果的な内容については、随時指導します。
- ② 行事の精選を行うと共に、授業時数を確保するため、7月からは週あたり1時間ずつ増やし指導します。
- ③ 授業と家庭学習のサイクル化を一層図り、必要な場合には個別に指導します。

■ 4 きめ細かい心のケア等を行います

- 感染者、濃厚接触者、医療従事者などに対する偏見や差別が生じないように、発達段階に応じた指導を行います。
- 学級担任や養護教諭を中心としたきめ細かな相談対応を行うとともに、スクールカウンセラー等による支援を行うなどして、児童の悩みなどに適切に対応します。